

神奈川ウォーキング参加⑩

# 江戸百景めぐり・愛宕下藪小路

- ・日時：平成22年2月19日（金）10：30 JR田町駅集合
- ・コース：田町駅西口→芝公園→増上寺→愛宕神社→愛宕下藪小路→霊南坂→六本木→麻布十番商店街→田町駅
- ・参加人員：15人、酒井さんリーダーで、栗本さん平嶋さんサブリーダー

## ・概要と所感

雪も降った寒い昨日に比べ、お日様も出る温かい好天に恵まれ、男7人女8人のバランス取れた計15人で、都心市街地ウォーキングには最適の人数でした。芝公園で酒井リーダーのストレッチの後、コースの説明。「安藤広重・江戸百景めぐり（愛宕下藪小路）」のマップと説明書は詳しく判りやすい。約9.5km、2時間50分

・芝公園では丁度「梅まつり」が開催されていた。梅も見頃で、琴の音に野点の風情は素晴らしい。元は増上寺の境内で、明治7年（1874）開園し、日本で最初の公園として指定され、芝東照宮も傍にある。東照宮は家康を祀る増上寺安国殿であったが後に独立。



## ・増上寺

室町時代1393年西<sup>ゆうよしやうそう</sup>菅聖聡が真言宗から浄土宗に改宗し開基。徳川家の菩提樹。壇林（学問所）がおかれ関東十八壇林の筆頭となる。<元禄14年（1701）江戸下向した勅使が増上寺を参詣するのをめぐり、畳替えをしなければならぬところ、吉良上野介が勅使卿役の浅野内匠頭に教えず、3月14日殿中刃傷の引き金になった>という逸話は忠臣蔵で有名。三門（三解脱門）はここをくぐると三毒（むさぼり・いかり・おろかさ）を除くという。東京タワーとの組み合わせが素晴らしい。



・青松寺

1476年太田道灌が雲岡舜徳を招き創建。号は萬年山。

境内に「獅子窟学寮」を擁し、幾多の人材を輩出、1875年曹洞宗大学林専門校を開校し、翌年高輪の泉岳学寮、駒込の吉祥寺寮と統合して、今日の駒沢大学へ発展した。山門には足元に邪鬼を踏みつけた四天王像、持国天（東）広目天（西）多聞天（北）增長天（南）の力強い像は見もの。

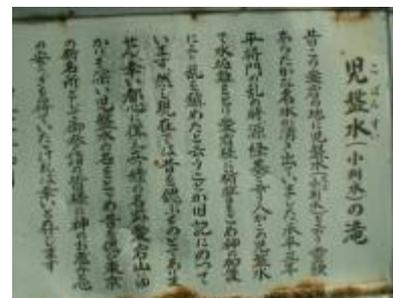
インドネシア独立戦争に参加した、市木龍夫・吉住留五郎に対して、スカルノ大統領からの祈念碑がある。仏教ルネッサンスやボーズ・ビー・アンビシャスを開講している。



・NHK放送博物館と愛宕神社

エレベーターで放送博物館に上がり、ここで昼食をとる。（11：40～12：30）

大正14年（1925）標高26mの愛宕山でラジオ放送が開始され、1956年放送局移転後、放送博物館が開館された。愛宕神社は家康が関ヶ原の戦勝を祈念して御神体を安置し、1603年社殿を造営した。火伏せの神。急勾配の男坂は86段あり、講談によると＜山頂付近に梅の花を見つけた徳川家光が家来達に、梅の枝を馬で取ってくる者はいないか＞とけしかけたところ、讃岐丸亀藩の曲垣平九朗が名乗り出て、見事にこれを成功させたことから「出世の石段」と呼ばれたとのこと。「児盤水（小判水）の滝」はお見事です。





・江戸坂めぐりと大使館

ホテルオークラを過ぎて**霊南坂**を上る。右手は**アメリカ大使館**。**スペイン大使館**・**スウェーデン大使館**・**サウジ**



**アラビア大使館**。**行合坂**から**飯倉片町**交差点で**島崎藤村旧居跡**を探すも見つからず。麻布支所に立ち寄り港区マップを戴く。流石東京都、港区「まち探訪ガイドブック」は詳しく紹介されている。**鳥居坂**・**七面坂**・**大黒坂**・



一本松坂を進むと**氷川神社**。頭でっかちのマンションとの組み合わせが面白い。**仙台坂**・**日向坂**・**綱の手引坂**から国道一号線「桜田通り」に出て、慶応大学前から商店と飲み屋街横丁を抜け田町駅へ向かう。15時無事終了。酒井リーダーさん、栗本さん・平嶋さん案内役ありがとうございました。

・栗本さんの見付けられた中華屋でアフターウォーク。別れを惜しみ平嶋さん良ご利用の、品川駅構内で第2部反省会。熟女連は歩くも飲むもお強い！



編集後記<港区ガイドブックによる>

- 港区は坂の街です。坂は88あります。それだけ起伏の多い町。
- 大使館も多く76あります。開国後初めてアメリカやイギリスなどの領事館が置かれたのは全て、麻布や高輪の寺院でした。おおきな建物が有り、異人を嫌った武家屋敷から隔離され、防備しやすく、海に逃れることが容易であった等の理由で市街地や江戸城から離れていた所が選ばれたようです。
- 昨年12月18日、別の会で忠臣蔵を偲んで、忠臣蔵討ち入り後の逆コース、泉岳寺から新橋方向へ歩きました。それ以前、増上寺、有栖川宮記念公園、自然教育園等、個々には行っているが、今回のように安藤広重が絵に描いた江戸時代の面影を残す、いくつもの坂道や社寺を歩いたのは初めてです。小高い丘から海が見えた時代と変わり、高いビルに囲まれた中に、各国大使館が広い敷地に低い建物で、厳しい警備の中にある姿も、江戸から明治・大正・昭和・平成と時代の流れを思い出させた1日でした。  
改めて企画案内された酒井さんに厚くお礼申しあげます。有難うございました。